



たじみ監督署 安全衛生だより

平成23年の労働災害発生状況

～ 全国労働衛生週間が実施されます ～

平成23年8月末における全産業における休業4日以上の労働災害発生状況は149件で、前年に比べ28件の減少となっています。

主な業種では、運送業における災害の増加が目立っています。本年度、労働災害防止を優先的に推進している建設業においては、大幅な減少となっていますが、多くの公共工事等が発注されつつあるこの時期から年未年始にかけて注意が必要となっています。

また、平成23年10月1日から7日にかけて全国労働衛生週間が実施され、9月はその準備期間となっています。近年、メンタルヘルス不調や過重労働による健康障害の増加、定期健康診断の有所見率の上昇など労働衛生面での課題は多く、この時期をとらえ、それぞれの職場で日常の労働衛生活動の総点検を行いましょう。

平成23年度全国労働衛生週間のスローガンは、

「見逃すな 心と体のSOS みんなでつくる健康職場」です。

	平成23年	平成22年	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	(参考) 平成21年
全産業	149	177 (4)	-28	-15.8%	100%	139 (1)
製造業	57	64 (2)	-7	-10.9%	38.3%	58 (1)
うちパルプ・紙等	1	6 (1)	-5	-83.3%	0.7%	5
うち窯業土石	17	23	-6	-26.1%	11.4%	26 (1)
うち機械金属	19	15 (1)	4	26.7%	12.8%	14
建設業	9	23 (2)	-14	-60.9%	6.0%	15
運輸業	17	9	8	88.9%	11.4%	12
卸・小売業	13	17	-4	-23.5%	8.7%	19
通信業	8	9	-1	-11.1%	5.4%	2
ゴルフ場	12	21	-9	-42.9%	8.1%	14
上記以外	33	34	-1	-2.9%	22.1%	19

本統計は、平成23年8末日までに労働者死傷病報告により報告のあった休業4日以上の死傷災害を集計したもので、かっこ内の数は死亡災害を内数で示したものです。

構成比は小数第2位を四捨五入しているため、各業種の合計が100%にならない場合があります。